

Honda Exciting Cup
One Make Race 2008

~CIVIC series~

Guide Book

ホンダ エキサイティングカップ ワンメイクレース ~シビックシリーズ~ ガイドブック



シビックでモータースポーツ!!

ボクたちのグランプリ

Integratyper.org

国内最高峰のワンメイクレース、 それが「シビック ワンメイクレース」です。



Integrapher.org



シビックドライバーたちの熱い思いが 大観衆のサーキットでぶつかり合う

Honda シビックTYPE R(FD2)によるレースシリーズ(通称シビックレース)は、ワンメイクレースと定義される単一車種に限定したカーレースカテゴリーの中でも、マシンのポテンシャル、ドライバーたちのレベルなどから、国内最高峰のワンメイクレースと呼ばれています。

「Honda ワンメイクレースシリーズ」がスタートしたのは1981年のこと。E-SR型シビックから始まり、車輌を変更しながら歴史を積み重ねました。そして2008年よりFD2型シビックによるレースとなりました。

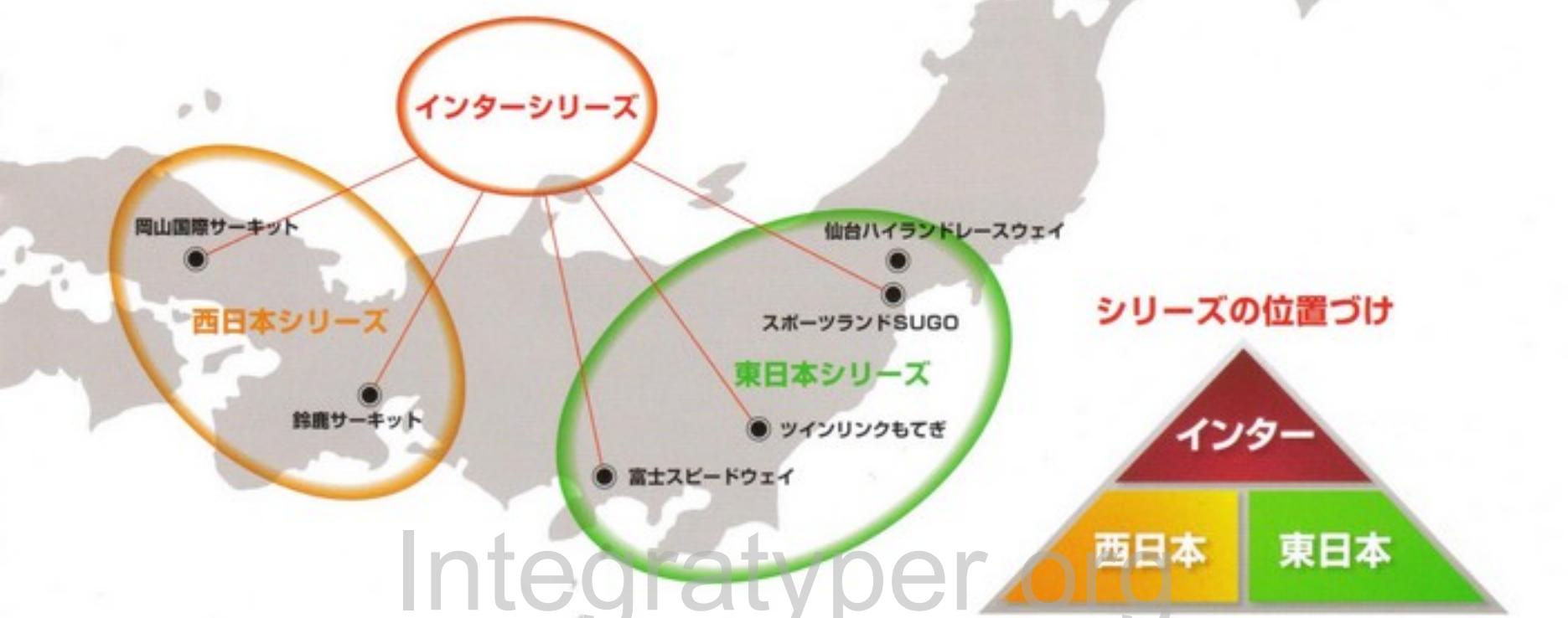
シビックレースは、東日本、西日本、そして全国転戦の上位カテゴリーとなるインターの3シリーズで開催されています。各シリーズ年間7戦が開催され、シリーズ優勝の栄冠を争います。

そのステアリングを握っているのは、ほとんど

が趣味としてレースに参戦するアマチュアレーサー。本業のかたわら、週末のみサーキットに足を運び、自分自身の手でマシンをメンテナンスしている人も少なくありません。そんな純粋にレースを楽しみたい人ばかりなので、ドライバー同士の結びつきが強く、マシンやドライビングに関する情報交換も盛んに行われています。もちろん、コース上では熱いバトルが繰り広げられていますが、その戦いはどこまでもフェアで、レース後には健闘を称え合う姿も見られます。

Hondaのレーシングスピリットと往年のシビックドライバーから受け継がれてきた伝統、参戦者たちの「レースを楽しみたい」という熱い気持ち。シビックレースが国内最高峰と呼ばれる理由は、そんな部分にこそあるのです。

シビックシリーズ開催場所



シビック ドライバー インタビュー

参戦ドライバーの多くは、熱い思いで純粋にレースを楽しむスポーツマン。ここでは、そんなシビックドライバーたちの素顔をご紹介します。



決勝グリッドの緊張感 こんな刺激はほかにありません



profile
39歳。05年インテグラ関東シリーズ優勝。07年同インターリーズ2位。S耐等にも参戦。

スーパー耐久レースでも常勝を誇るトップドライバー
Driver 前嶋秀司 M&M SPORT

昔は峠を走っていました。初めてサーキットへ行ったときに“こんなに大勢の観客の前で走れるんだ！”って感動して、それからひたすらいろんなレースに参戦しました。初めてシビックに参戦したのは、15年ほど前。決勝グリッドの緊張感がやみつきになって、やめられなくなりました(笑)。シビックは、これまで参戦したレースの中で、いろんな意味でいちばんレベルが高い。とてもクリーンで、ホンダの伝統というか、格がありますね。



あきらめなければできる！ レースを通じて気づきました



profile
39歳。06年インテグラ関東シリーズチャンピオン。自動車ライターとしての顔ももつ。

モータージャーナリスト兼シビックドライバー
Driver 後藤比東至 MONKEY AMATEUR RACING TEAM

本格的にレースデビューしたのは30歳を過ぎてから。最初は表彰台なんてはるか彼方で、悔しい思いをたくさんしました。でも一昨年、関東シリーズの開幕戦で初優勝して、さらにはシリーズ優勝もできました。年齢なんて関係なく、あきらめなければなんでもできるんだって、レースをやっていたからこそ気づくことができましたね。今はステップアップしたインターリーズで悔しい思いをたくさんしていますが(笑)、生涯レーシングドライバーとしても、がんばり続けたいです！

シビック ワンメイクレース スケジュール

日常生活から、ドライバーへ
と変身する週末。彼らのエキ
サイティングな週末をご紹介。

レースウィーク
※H.O.A: ホンダワンメイクレースアソシエーション



練習走行

マシンセッティングのために欠かせないのが練習走行です。サーキットのスポーツ走行時間を使いますが、インターリーズではH.O.A.が練習走行の時間を無償で提供してくれます。

公式車検

実はレーシングカーにもキチンと車検があります。マシンが規定通りに作られているか、安全装備は万全か、などを検査。車検に合格しないとレースに出場できません。



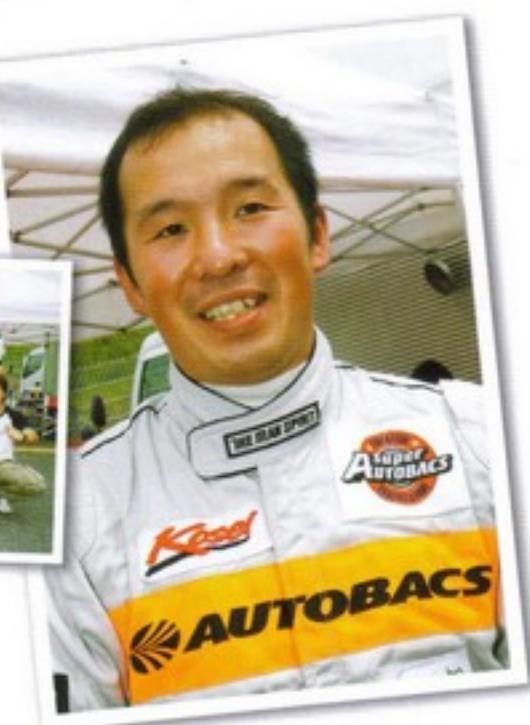
緊迫した雰囲気での作業は技術向上につながっています

2008年、西日本シリーズ期待のルーキー
Driver 金井まさきち ARTA with AUTOSEVEN

僕もメカニックも普段はオートバックスのスタッフです。しかも初めてレースに参戦する初心者チーム。経験豊富な人たちの中で、レース界の厳しさを実感しています。緊迫した雰囲気の中での作業は、空気圧の点検など、基本的な作業の大さに気づいたり、普段のサービスや技術の向上につながっています。いきなり結果を出せるとは思っていないので、スタッフみんなで成長して、数年後には上位争いができるようになりたいです。



profile
35歳。オートセブン社員によるチーム編成で参戦。社内オーディションによりドライバーに抜擢された。



モータースポーツの素晴らしさを多くの人に知ってほしい

往年の名ドライバーが監督として参戦
監督 高橋国光 HondaCars東京中央レーシングチーム

モータースポーツは本当に奥が深い。レースに参戦するためには、多くの人の力を必要とします。人間同士のコミュニケーションがないと、クルマは動かないんです。現在、うちのチームはHondaCars東京中央のスタッフがメカニックをやっていて、サーキットからたくさんのこと学んでいます。シビックレースを通じて、Hondaのディーラースタッフはもちろん、多くの方に、モータースポーツの素晴らしさを知ってほしいですね。



profile
キャリア通算71勝。現役引退後もチーム国光の監督として、スーパーGT等様々なレースに参戦。



公式予選

決勝のスタート位置(スターティンググリッド)を決めるタイムアタックが公式予選です。最速を目指し1周に全神経を集中します。ドライバーの『腕』が試されます。



決勝レース

いよいよ決勝。スタートまでは膝は振るえ、心臓の音が聞こえるほど。しかし、一旦スタートしてしまえば持てるテクニックを駆使してサーキットを駆け抜けます。目指すは優勝のみです。

ブリーフィング

競技の最高指揮官『競技長』が開くブリーフィングは、ドライバーへ諸注意や伝達事項の通達が行われます。参加ドライバー全員の出席が義務づけられた、やや緊張の時間です。

Intertainer.co

シビックレース 参戦へのステップ



JAF(日本自動車連盟)は、日本唯一のモータースポーツ統括団体。競技に参加するには、JAFの会員であることが必須なのでJAFに入会しよう。

STEP1 レースに参加するには JAF競技ライセンスが必要



競技へ参加するためには、JAFの発給する競技運転者許可証(競技ライセンス)が必要となります。これには国内Aと国内Bに分かれています。まずははじめに国内B(通称B級ライセンス)を取得しなければなりません。

STEP2 B級ライセンス取得へ



B級ライセンスは講習会を受講するのみで取得できます。JAFにB級ライセンス講習会の日程を確認し、受講します。B級ライセンスで参加できるのはJAF公認競技会(ジムカーナ、ラリー、タイムトライアルなど)になります。B級ライセンスではまだシビックレースへは参戦できません。参戦へは上級のA級ライセンスが必要となります。

STEP3 A級ライセンス取得へ



JAFが開催するA級ライセンス講習会を受講します。JAFにA級ライセンス講習会の日程を確認し、受講します。この講習会は講義と実技があり、通常はサーキットなどの施設で開講されます。

*受講するにはJAF公認競技会(ジムカーナ、ラリー、タイムトライアルなど)に参加し、実績が必要になります。競技に出場し、1回以上完走するとA級ライセンス講習会への受講資格が得られます。

いよいよレース参戦へ

シビックワンメイクレースに出場する資格は「国内A級ライセンス以上」です。シビックワンメイクレースがデビューレースという方も多いですが、いきなり国内最高峰のワンメイクレースでは…。という方には、全国サーキットが主催する様々なクラブマン(入門)レースや、複数のドライバーが交替でドライブする「もてぎ Enjoy 耐久レース」などのレースで経験を積むという方法もあります。クラブマンレースでは旧型車を使うレースが多いので、比較的廉価な費用で参加できます。Enjoy耐久は走行時間も長く、ドライバー数人で費用を分担すればコストも抑えることができ、腕を磨くにもってこいのレースです。ステップを踏んでシビックを目指すも良し、腕自慢は一気にシビックに挑戦するも良し、選択はドライバーに任せられます。



*ライセンスの内容・取得に関する詳細はJAFへお問い合わせ下さい。

シビックレース Q&A

出たい人にも観たい人にも、シビックワンメイクレースに関する素朴な疑問に答えます！

Q1

レースのエントリーフィーはいくらくらい?賞金は?

A. エントリーフィーは全国転戦するトップカテゴリーのインターリーシリーズが4万2000円、東・西日本シリーズは3万1500円とリーズナブル。一方優勝賞金はインターでは40万円、東・西日本では10万円。インターのシリーズチャンピオンはなんと220万円。

Q2

レース未経験でもシビックレースに出られますか?

A. 国内A級ライセンス以上を持っている人なら誰でも参加することができます。走行会や入門的カテゴリーのレースで経験を積んでから参戦する人も多いようです。中にははじめてのレースがシビックという強者もいます。

足回り

ワンメイク化されている部品の中で唯一自由度が高く、複数のメーカーのパーツが使える足回りは、セッティングポイントで重要な役割を担っています。

室内

内張がはがされ、鉄板剥き出しの室内はレーシングカーそのものです。ロールケージ、パケットシート、消化器などが装備されます。

STEP4 レース車両をつくる

シビックレース参戦に向けてレース車両をつくります。エアコンや助手席などが最初から取り外されているワンメイクレースベース車(ナンバー取得不可)は全国のHondaCarsで購入可能。これをベースにワンメイク車両を製作します。レース用部品はH.O.A.が使用を義務付けた「H.O.A.指定部品」、H.O.A.が使用を推奨する「H.O.A.認定部品」、および一般レース用部品などがあり、これらをベース車両に組み込んでマシンは完成します。すぐに参戦したいという方は、M-TEC製コンプリートカー「MUGEN RC」がおすすめです。足回りパーツから、ロールケージやパケットシート、ボディ補強まで備えた、即参戦可能なシビックワンメイクレース用完成車があります。



タイヤ

横浜ゴム製スリックタイヤのワンメイク。コンパウンドは2種類あり選択可能です。サイズはともに230/640 R18。

エンジン

N1規定に則して、ノーマルバーツ以外は使用禁止。イコールコンディションが保たれ、激しいバトルが必至です。

STEP5 シビックレースにエントリー

マシンが完成したらいいよいよレースにエントリーします。全国転戦するトップカテゴリーのインターリーズ、登竜門的カテゴリー、東・西日本シリーズのいずれかを選択。もちろんシリーズ全戦に参戦しなくとも、まずは得意なサーキットのレースにだけスポット参戦して腕試しをしてみるという方法もあります。もうひとつ忘れてはいけないのがチーム編成。レース当日のメカニックやタイムキーパーは、プロのレースガレージに依頼する方法、仲間でチームを編成する方法など、スタイルや予算によってさまざまです。



Q3

普段の練習はどうすればよいですか？

A. レース車両はナンバーが取得できないので、公道走行は不可。練習やテスト走行は、積載車でレース車両をサーキットまで運び、サーキットのスポーツ走行日や、ショップ主催の走行会などに参加している人がほとんどです。

Q4

レース専用のウェアって、どんなものがありますか？

A. レーシングウェアには、レーシングスーツ、ヘルメット、フェイスマスク、シューズ、グローブ、アンダーウェア、ソックスなどがあります。これらのウェアは、すべてJAFの公認を取得しているものでなければなりません。

Q5

シビックレースはどこで開催されていますか？

A. フォーミュラニッポンやスーパーGTなどのサポートレースとして開催されることが多いため全国の有名サーキットで開催され、観戦することができます。10月には岡山国際サーキットで日本初開催となるWTCCにて全シリーズ選抜戦の「チャレンジカップ」が開催されます。

*詳しくは裏表紙の開催スケジュールをご参照下さい。

Honda Exciting Cup One Make Race 2008 ~CIVIC series~ 2008 開催日程 & サーキット

インターナショナル

	開催日時	大会名	サーキット
第1戦	4月 12~13日	スーパーGT Rd.2	岡山国際サーキット
第2戦	5月 24~25日	全日本フォーミュラニッポン Rd.3	ツインリンクもてぎ
第3戦	6月 7~8日	全日本フォーミュラニッポン Rd.4	岡山国際サーキット
第4戦	7月 12~13日	全日本フォーミュラニッポン Rd.5	鈴鹿サーキット
第5戦	8月 30~31日	全日本フォーミュラニッポン Rd.7	富士スピードウェイ
第6戦	9月 20~21日	全日本フォーミュラニッポン Rd.8	スポーツランドSUGO
第7戦	11月 8~9日	スーパーGT Rd.9	富士スピードウェイ

仙台ハイランドレースウェイ
SENDAI ISLAND RACEWAY



スポーツランドSUGO
SPORTS LAND SUGO



ツインリンクもてぎ
TWIN LINK MOTEGI



富士スピードウェイ
FUJI INTERNATIONAL SPEEDWAY



鈴鹿サーキット
SUZUKA CIRCUIT



岡山国際サーキット
OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT



東日本シリーズ

	開催日時	大会名	サーキット
第1戦	4月 5~6日	全日本フォーミュラニッポン Rd.1	富士スピードウェイ
第2戦	5月 17~18日	スーパー耐久シリーズ Rd.2	仙台ハイランドレースウェイ
第3戦	6月 28~29日	THE ワンメイク祭 2008	富士スピードウェイ
第4戦	7月 26~27日	スーパーGT Rd.5	スポーツランドSUGO
第5戦	9月 13~14日	スーパーGT Rd.7	ツインリンクもてぎ
第6戦	10月 19日	もてぎチャンピオンカップ Rd.4	ツインリンクもてぎ
第7戦	11月 1~2日	スーパー耐久シリーズ Rd.7	スポーツランドSUGO

西日本シリーズ

	開催日時	大会名	サーキット
第1戦	4月 12~13日	スーパーGT Rd.2	岡山国際サーキット
第2戦	5月 10~11日	全日本フォーミュラニッポン Rd.2	鈴鹿サーキット
第3戦	6月 7~8日	全日本フォーミュラニッポン Rd.4	岡山国際サーキット
第4戦	7月 12~13日	全日本フォーミュラニッポン Rd.5	鈴鹿サーキット
第5戦	9月 6~7日	スーパー耐久シリーズ Rd.5	岡山国際サーキット
第6戦	10月 12日	OKAYAMAチャレンジカップレース Rd.6	岡山国際サーキット
第7戦	11月 9日	鈴鹿クラブマンレース Rd.6	鈴鹿サーキット(西)

※第1戦、第3戦、及び第4戦は、インターナショナルとの混走別賞典レースとして開催されます。

FIA World Touring Car Championship in Japan (WTCC Round 19&20)

特別戦	開催日時	大会名	サーキット
特別戦	10月 25~26日	WTCC シビック チャレンジカップレース	岡山国際サーキット

インターナショナル賞典

1位	賞金	¥400,000	カップまたはトロフィー
2位	賞金	¥200,000	カップまたはトロフィー
3位	賞金	¥100,000	カップまたはトロフィー
4位	賞金	¥80,000	カップまたはトロフィー
5位	賞金	¥70,000	カップまたはトロフィー
6位	賞金	¥50,000	カップまたはトロフィー

賞金合計 ¥900,000

シリーズ賞典

チャンピオン	賞金	¥2,200,000	成績認定証 カップ&09年CarNo.1
2位	賞金	¥1,600,000	成績認定証 & カップ
3位	賞金	¥1,100,000	成績認定証 & カップ
4位	賞金	¥800,000	成績認定証 & カップ
5位	賞金	¥650,000	成績認定証 & カップ
6位	賞金	¥550,000	成績認定証 & カップ
7位	賞金	¥400,000	成績認定証
8位	賞金	¥300,000	成績認定証
9位	賞金	¥200,000	成績認定証
10位	賞金	¥200,000	成績認定証

賞金合計 ¥8,000,000

東日本・西日本シリーズ賞典(各シリーズ共通)

大会賞典	1位	賞金	¥100,000	カップまたはトロフィー
	2位	賞金	¥70,000	カップまたはトロフィー
	3位	賞金	¥50,000	カップまたはトロフィー
	4位	賞金	¥40,000	カップまたはトロフィー
	5位	賞金	¥30,000	カップまたはトロフィー

賞金合計 ¥320,000

シリーズ賞典	チャンピオン	賞金	¥1,000,000	成績認定証 & カップ
	2位	賞金	¥500,000	成績認定証 & カップ
	3位	賞金	¥300,000	成績認定証 & カップ
	4位	賞金	¥200,000	成績認定証 & カップ
	5位	賞金	¥150,000	成績認定証 & カップ
	6位	賞金	¥100,000	成績認定証 & カップ
	7位	賞金	¥80,000	成績認定証
	8位	賞金	¥70,000	成績認定証
	9位	賞金	¥60,000	成績認定証
	10位	賞金	¥50,000	成績認定証

賞金合計 ¥2,510,000